

熱のVoice ①

強みホルダー編

大阪エネルギーサービス株式会社
技術企画部

鈴木 邦彦



「需要家側の空調運転事情を熟知。

供給側と需要家側の視点から配慮ある運転計画を立案」

お仕事の主な内容を教えてください。

鈴木 「安全・安定供給の継続」および「プラント効率の向上」に係る全ての業務を担当しており、蓄積された運転データや不具合履歴を分析して修繕箇所の優先度を判定し、計画的に安全性と効率性を追求しています。また、ISO14001と同様のコンセプトを持つ「KES 環境マネジメントシステム」の実行責任者でもあり、弊社の環境改善に向けた取組みのPDCA サイクルを循環させるなど、地球環境問題にも取り組んでいます。

お仕事に活かしているあなたの強みや特徴を教えてください。

鈴木 前職でホテル、病院、美術館など多岐にわたるビルの設備管理員として空調管理を担当してきたのが強みです。需要家側の空調機器の運転事情を熟知しているので、熱源機器の運転計画を立てる際には供給側と需要家側の両方の視点に立ち、一方の設備に負担がかからないような

配慮ができます。また、熱源機器や空調設備の管理保全で実際に身体を動かしてきた経験が、機器の修繕や更新時期の見極めに役立っています。

お仕事の楽しさ、やりがいなどを伺わせてください。

鈴木 プラントの運転業務は協力会社に委託しており、大切なパートナーであると同時に良きライバルという関係を構築できています。お互いが競うように安全対策や効率改善についての提案を行ない、技術・技能を高め合っています。私も日々勉強に努め、前職での知識や経験も活かして真剣勝負に臨み、今後ともこの関係を維持できるようにしていきたいと思っています。



月例技術検討会議で提案を行なう鈴木氏

今後の目標をお聞かせ下さい。

鈴木 弊社では「安全・安定供給の継続」という最重要テーマのほか、地域熱供給が地球環境保全に寄与することを広く世の中に発信するためにも、「プラント効率の向上」も重要課題として位置付けています。そのためには、熱源機器単体のレベルにおいても省エネ性を高めていく必要があります。たとえわずかずつでも絶えず効率向上を積み重ねるために、社員一同、知恵を出し合っています。今後とも環境にやさしく快適な都市空間を創造するエネルギーサービス企業となることを目指し、持続可能な未来の実現と地域・社会の発展に貢献していきます。

鈴木 邦彦氏 (Suzuki Kunihiko) 略歴

1995年経済学部卒業後、スイミングスクールのインストラクターをしながら1998年に工学部電気工学科に学士編入し、2002年卒業。2009年12月大阪エネルギーサービス(株)入社。今は妻と9歳、3歳になる子どもたちと遊園地に行ったり、一泊で旅行することが楽しみです。

(取材：小林信二 広報委員)